

会 議 報 告 書

会議名	第9回 第2次21世紀矢板市総合計画 策定検討委員会
日 時	平成22年6月18日(金)午後7時00分～8時40分
場 所	市役所 2階 本館会議室
出席者	市 只木秘書政策室長、鈴木政策班長 政策班 赤羽主幹、和田副主幹、手塚主査(記録) 策定委員 8名(別紙名簿のとおり)

1 開 会 19:00
開会及び資料の確認

2 あいさつ(会長)

今日は雨の中ご苦労様です。第9回目の検討委員会ということで、だいぶ先が見えてきた感じがします。本日も慎重審議をお願いします。



3 検討事項(進行:会長)

「第2次21世紀矢板市総合計画基本構想(素案)」について(事務局説明)

この基本構想素案については、一般に公表して広く意見を求め計画の内容に反映させるということから、来週からパブリックコメントを実施する予定です。素案については前回示したものと表現など多少の変更があったが、基本になる部分については、この会議で皆さんに検討していただき決めたものである。それを基に、庁内の会議で検討し、また議会においても説明し、素案及び人口フレームについて了承いただいた。

今後、パブコメの結果と、来月から開催する策定懇談会の意見を基に構想を固めたいと思っている。

* 資料に沿って説明

重点項目についての検討(グループワーク)

5つの重点項目の内容について検討する。行政が行う各施策について、展開の構想を膨らませていただきたい、それぞれどんなことが出来そうかという意見をまとめる。



Aグループ

公共交通機能の拡充による市勢発展

- ・ 矢板北PAの利活用
 - ・ オンデマンドバス 等
- 豊かな自然環境の利活用による産業の活性化
豊かな自然環境を資源としてとらえ・・・
- ・ 高原山をモチーフにした絵画コンテスト開催
 - ・ 八方牧場の活用
 - ・ 豊富できれいな水を使い、環境産業、環境共生産業に特化した企業誘致
 - ・ 宇都宮ブリッツェンの練習コースの誘致（自転車によるまち興し） 等

Bグループ

市民力の向上

- ・ 市民は一人一仕事のような全員参加のボランティア
- ・ ボランティアの人材バンクの創設（自由に気軽にだれでも参加できる環境）
- ・ 核となる人材・団体等の育成
- ・ 行政区単位による市民活動の協力体制の構築
- ・ 行政側から市民への情報提供（今、何が必要で、何をしてほしいか等） 等

教育重視のまちづくり

- ・ 特色ある学校づくり（文芸・緑化・歴史・国語など）
- ・ あいさつ運動
- ・ ともなり文芸祭り
- ・ 学校に行けない・行かない子どもたちの居場所づくり 等

豊かな自然環境の利活用による産業の活性化

- ・ 市の特産物・名産物でメインとなるものを作る
- ・ 道の駅を核とした情報発信
- ・ 「矢板が一番！」のものを探しPRする。例えば、「餃子のまち宇都宮」みたいなイメージで「矢板の 〇〇は日本一！」で売り出す。（高原山、名人など）

* 詳細については別添資料参照

今後の進め方（事務局説明）

次回も、引きつづき「重点項目」について検討する。

素案については、パブコメや庁内会議の結果等により、若干変更が生じるかもしれないので、その時は改めて提示する。

この検討委員会の会議録については、すでに市のHPに公開中であるが、来週以降、中間提言書についても併せて掲載することになるのでご了解いただきたい。

各委員 了承

次回は7月29日（木）に開催する。

4 閉会 20：40